

# 租税教育実践レポート

## わたしたちの生活と税金について考える

登米市立上沼小学校教諭 6学年 村上 喜久美





実施年月日：令和2年1月15日 33名

### 1 実践計画・指導のねらい

私たちの国民生活は、「税」と深く関わっている。税金は、豊かな社会生活を支える根底をなすものであり、安定した生活を送るためのかけがえのないものである。そして、それを支えているのはわたしたち国民一人一人である。しかし、子どもたちにとって税はあまり身近なものとは言えない。

そこで、税が果たしている役割に気付かせることにより、児童が通う学校や公共施設、地域社会などへの関心と愛情を育成していきたいと考えた。さらに、私たちの生活は税と深く関わっており、豊かなくらしを実現するためには税金はなくてはならないものだということを理解させたい。

### 2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金について知っていることや疑問を話し合う。</li> <li>クイズにチャレンジする。</li> <li>税に関する標語を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 税金について知っていますか。どんな税金を知っていますか。</li> <li>● 消費税・・・。買い物の時に・・・</li> <li>○ 税について楽しく学ぼう！</li> <li>○ 税に関する標語を作ろう！</li> <li>□使用教材名 「税について考えよう クイズだぜイ！」法人会</li> </ul> 
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容について知る。</li> <li>税金の働きについて税務署の方のお話を聞いたり、質問したりする。</li> <li>① 税金の意義</li> <li>② 税金の必要性</li> <li>③ 身近な税金の使われ方</li> <li>税金について質問する。</li> <li>税金について学習したことを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 税務署の方と一緒に税金について学習しよう。</li> <li>● 税金の種類は、いくつかな。</li> <li>● 税金は、何に使われているのかな。</li> <li>● どんな勉強をするのか。楽しみだな。</li> <li>○ 税金は、なぜ納めなければならないのだろうか。</li> <li>● 国民の義務だけど・・・。</li> <li>● 納めなくてもいい。</li> <li>○ 税金がなくなるとどうなるのか。</li> <li>● 困っている人を助けられない。</li> <li>● 安く物が買える。</li> <li>○ 税金は、何に使われているのだろうか。</li> <li>● 自分たちの机も、教科書も・・・。</li> <li>● 救急車も、図書館も・・・。</li> <li>○ 税金について質問しよう。</li> <li>● 他にはどんな税金があるのか。</li> <li>● 外国にも消費税はあるのか。</li> <li>○ 今日の学習で分かったことを書きましよう。</li> <li>● 税金がなくなると私たちの生活が大変なことになる。</li> <li>□使用教材名 税のビデオ (マリンとヤマト)</li> </ul>   
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金について分かったことや考えたことを「税金に関するはがき」に表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 税金に関するはがきを書こう。</li> <li>● どんな絵で表現しようかな。</li> <li>● 税金に関する言葉は何にしようか。</li> </ul>

#### 【指導のポイント】<1時間目>

○自分たちの知っている税金や使われ方などを友達と話し合わせることで税金に対する興味をもたせる。  
○税金についてのクイズに取り組んだり、標語を作ったりすることで、税金について楽しく学び、関心を高める。

#### 【指導のポイント】<2時間目>

○税金について調べたワークシートを準備させ、目的をもって話を聞かせる。  
○税についての理解を深めることができるよう、税金の働きについて税務署の方の話を聞かせたり、質問させたりする。  
○ビデオ視聴や税務署の方の話から身近な税金の使われ方について知り、税金が計画的に国民のために使われていることを理解させる。  
○税金についての学習を通して分かったことやもっと知りたいことなどについて感想を書き、今後の生活に生かしていこうとする気持ちをもたせる。



### 3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

◎ 租税について学習したことで、身近なところに税金が生かされていることに児童が気づき、納税についての考えが深まったと思う。

◆ 税金についての学習として3時間を授業時数で当てることになり、時数を確保するのが大変だと感じた。

児童の感想から

- 税金が教科書などにも使われていて、とても大切なことが分かった。また、税金が必要な理由が分かった。大人になったらしっかり納税したい。
- 税金がないと、道路などを直せなくなったり公園などの管理ができなくなったりして大変になることが分かった。私たちは税金に助けられていると思った。
- 税金は、社会のために使われていることが分かった。信号や橋などにも使われていることが驚きだった。税金を納めることが大切なことだとも知った。
- 税金が使われているところと使われてないところがあることが分かった。税金は納めるものだという意識をもつことができた。